

7 日 獣 発 第 234 号

令和 7 年 10 月 21 日

地方獣医師会会長 各 位

公益社団法人 日 本 獣 医 師 会

会 長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の 実施について

このことについて、令和 7 年 9 月 25 日付け環自野発 25092514 号をもって、環境省自然環境局野生生物課長から別添のとおり通知がありました。

近年、世界的に高病原性鳥インフルエンザが蔓延する中、令和 6～7 年シーズンは国内においてこれまでに 2 番目に早い 9 月 30 日に北海道の野鳥のハヤブサで確認されて以降発生が続き、これまでに最も遅い 7 月 15 日まで野鳥監視重点区域が設定されています。希少種への感染が確認されるなど、生物多様性保全上のリスクも高まっています。

このたびの通知は、こうした状況を踏まえ、高病原性鳥インフルエンザ対応体制の確保について各都道府県宛に通知したので、了知されるとともに、円滑な野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施につき配慮をいただきたいとするものです。

つきましては、貴会関係会員への周知方よろしくお願いいたします。

本件のお問合せ先

公益社団法人 日 本 獣 医 師 会 事業担当：松岡

TEL 03-3475-1601 E-mail inomata@nichiju.or.jp